

提案説明

【 市長提案説明 】

本日は、第4回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位には、年の瀬を迎え何かとお忙しい中、ご参集いただきまして、誠にありがとうございます。

私が市長に就任しまして5年が経過しようとしております。この間、市民の皆様、議員の皆様から貴重なご意見、温かいご支援をいただき、市政運営ができましたことを心からお礼申し上げます。定例会の開会に当たり、提出いたしました各案件の説明に先立ちまして、国の動向、また昨年の選挙時に公約として掲げました重点プロジェクトを始め、現在の市政の情勢や主な事業の概要について申し述べさせていただきます。

まず、「国の動向」についてであります。

国政におきましては、10月22日に第48回衆議院議員総選挙が行われ、第4次安倍内閣が発足しました。所信表明で首相は、待機児童の解消を目標とする考えを示すとともに、幼児教育・保育無償化について「2020年度までに、3歳から5歳まで、すべての子どもたちの費用を無償化する」と宣言されました。高額所得者には、助成に上限を設けること、また基準となる所得水準は示されてなかったりと現在のところ、詳細はまだ見えてきませんが、今後の政府の動きを注視してまいります。社会全体で子育てを支える形が作られるよう、全力で取り組む環境が整えられることを期待するものであります。

次に、「防災対策」についてであります。

今年は10月に2週連続で大型台風の接近がありました。台風21号が接近した10月22日には、選挙が執り行われておりましたところに、避難所を開設しましたので、職員を総動員して対応いたしました。この台風での被害状況は、床上浸水1戸・床下浸水6戸をはじめ、道路被害としては、冠水のための通行止めや土砂の流出など多くの被害が発生いたしました。人命にかかわる大きな被害がなかったことは幸いですが、今後も市民の皆様の命や暮らしを守るために、防災対策を進めてまいります。

その一環として進めております同報系防災行政無線整備につきましては、平成29年度に計画しておりました防災行政無線の桑名地区45か所の設置工事が予定どおり終了し、桑名地区におきましては、全53か所の設置が完了いたしました。

今後は、Jアラート連動試験放送等を実施し、市民の皆様への災害情報を伝達するソフト面の整備を順次進め、機器の運用を図ってまいります。

また、次年度以降は長島地区および多度地区の防災行政無線を既設のアナログ波からデジタル波へシステムを更新してまいります。

次に、「新病院整備事業」についてであります。

新病院建設工事の進捗状況につきまして、10月末現在の工事進捗率は90%となっており、概ね順調に工事が進んでおります。

新入院棟・新外来棟につきましては、ともに仮設の覆いも撤去され、建物の全容が確認できるようになりました。

地域の中核病院としての役割を担う総合医療センター新病院は、平成30年1月末の工事完了、そして4月開院に向けて着実に準備を進めてまいります。

つきましては、4月1日に、新病院開院のオープニングセレモニーを開催させていただきたいと考えておりますので、市議会の皆様にもぜひ、ご出席をお願いいたします。

また、一週間をかけて関係者、一般の方向けの内覧会をさせていただき予定をしております。

患者さんにつきましては、4月中旬に順次、西、南の医療センターの入院患者さんも含め、新病院に移っていただきまして、外来診療につきましては、5月1日から開始する予定でございます。

次に、「桑名駅周辺の整備」についてであります。

現在、桑名駅自由通路整備事業に先立ち、暫定桑名駅東口駅前広場整備工事に取り掛かっております。年明けには自由通路整備事業及びJRの橋上駅舎化の整備工事が始まる予定でございます。

また、桑名駅西土地区画整理事業を進めております中断移転住宅につきましては、公民連携の手法を用い、「コラボ・ラボ桑名」の窓口で提案を募集し、事業者が決定しました。中断移転住宅は、年度内の完成を目指して取り組んでおり、完成後は、一団で仮移転をして頂くことにより、移転先（仮換地）の早期整備を図り、街区整備の進捗を高め、また桑名駅自由通路整備事業と合わせて、駅周辺の整備を進めてまいります。

工事期間中、桑名駅及び東西の駅前広場を利用される皆さまには大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

次に、「地域子育て支援拠点整備事業」についてであります。

暮らしの中で、子育て家庭の様々な相談や情報提供を行う、拠点施設、地域子育て支援センター「にこにこ」をイオン桑名2番街に12月16日にオープン致します。

桑名の子ども達をはじめ、保護者の方も笑顔いっぱいになれるようにとの思いを込めて、施設の愛称を「にこ にこ」とさせていただきました。

この施設は、イオンモール桑名と市が公民連携で設置いたしました。利用者目線に立ち、商業施設という市民の暮らしの中に、子育て支援センターを設置できましたことを、大変うれしく思っております。商業施設内では、県内初の公営の子育て支援センターとなります。商業施設でありますことから、駐車場も完備されており、土曜・日曜日のお買い物の際に多くの方に利用していただくことを期待しているところです。

次に、「地域創造プロジェクト（案）」についてであります。

先の定例会では、プロジェクトの第1段階の取り組みといたしまして、平成30年4月に多度町・長島町総合支所を地区市民センター化し、大山田地区市民センターを除く7地区市民センター及び各地区公民館をまちづくりの拠点施設へと機能転換を図るための議案の議決をいただいたところです。現在、機能転換に向けた調整を行うとともに、あらためて地域の皆様へ説明や意見交換の場を設けるための準備をしているところでございます。今後さらに、地域のまちづくりを進めるための場づくり（拠点づくり）と地域自治組織「（仮称）まちづくり協議会」の形成に向け、地域の皆様との対話を重ねながら、しっかりと取り組みを進めてまいります。

また、11月25日には、大山田コミュニティプラザに於きまして「地域が描くまちづくりセミナー」を開催いたしました。県内の自治体で地域自治組織のサポートに取り組んでおられます四日市大学の岩崎学長にご講演をいただくとともに、県内で早くから地域自治組織を立ち上げられている名張市のほか、県外からは、島根県雲南市の方にもお越しいただき、私も参加してパネルディスカッションを行いました。

他の自治体の地域づくりの在り方や取り組みを参考にしながら、市民の皆さまとともに、これからの桑名の新しいまちづくりを考えていきたいと思っております。

以上のように、公約として掲げました事業につきましては、着実に進んでおります。

厳しい財政状況の中、限られた財源で、多様化・複雑化する市民ニーズに対応するため、行政の既成概念にとらわれない、柔軟な発想や民間等のノウハウを活用した公民連携の手法を取り入れていくことが必要であると感じております。

最後に、先般市議会常任委員会からいただきました市の事務事業に対する政策提言につきましては、しっかりと受け止め、改善等の対応をしてみたいと考えておりますので、引き続き、市民の皆様、議員の皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

それでは、今定例会に提案いたしました諸議案のうち、はじめに、人件費に係る補正予算及び条例の一部改正の議案につきまして、ご説明申し上げます。

まず、議案第 161 号「平成 29 年度一般会計補正予算（第 5 号）」乃至議案第 166 号「平成 29 年度下水道事業会計補正予算（第 1 号）」につきましては、人事院勧告に基づき、月例給の引き上げや勤勉手当の支給割合の増などのため、必要な額を計上し、あわせて、人事異動等に伴う人件費を計上いたしました。

次に、議案第 167 号「桑名市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正」につきましては、人事院勧告に基づき、指定職員の期末・勤勉手当の支給割合に準じている議員の期末手当支給割合を改正するものであります。

次に、議案第 168 号「桑名市職員給与条例等の一部改正」につきましては、人事院勧告に基づき、職員の期末・勤勉手当の支給割合の変更、給料表の改正等、所要の改正を行うものであります。

よろしくご審議賜りますよう、お願い申し上げます。

注) 上記の提案説明は、実際の発言と異なる場合がありますので御了承願います。

(会議録が正式な発言記録となります。)